

学校経営ビジョン 地域に根付く「菊池の精神」を背景に、「あたたかい関わり」と「見届け」を基盤とし、一人一人の個性を認め、伸ばし、望ましい行動を強化するとともに、児童が自分の成長を実感できる教育を学校、家庭、地域が一体となって推進する。

【評価基準 4段階評価 4…期待以上 3…ほぼ期待通り 2…やや期待を下回る 1…改善を要する】

評価項目	重点指導項目	方策・手立て	成果と課題（【 】は教諭自己評価4点満点）	成果指標【アンケート（全教員、全児童、保護者（回収57%）、検査結果等）】	自己評価				総合	改善策	評価	学校関係者評価委員の意見
					4	3	2	1				
2 豊かな心（自己指導能力）の育成	(2) 個のよさを認め、個に応じた適切な支援の実施	① スクールワイドPBS（児童のできた！を引き出す積極的な行動支援の推進）の考え方に基いた校内支援体制の充実 ② 特別支援教育の視点を踏まえた個別指導の充実 ③ 「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」の整理と活用 ④ 関係機関とのネットワークの拡充	① スクールワイドPBSに関する研修を実施し、具体策についての演習等を行い、指導に生かした。特に、望ましい行動を積極的に推進し、全職員で称賛することに努めた。【3.5】 ② 児童の知能や学力、行動の様子を職員で把握し、指示の出し方やICTを活用し視覚的理解の促進など、合理的な配慮に基づいた授業改善に努めた。配慮の必要な児童への関わり方に課題が残った。【3.4】 ③ 「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」においては、特別支援教育コーディネーターを担当とし、各個人に係る資料については、必ずファイリングし指導に役立てた。【2.9】 ④ 児湯るびなす支援学校教諭による児童観察や検査、保護者面談等の実施し、助言に基づき家庭と連携した指導を行った。【3.3】	①※児童「先生からよくほめられますか」◎27.1%、○53.4%、△17.8%、×1.4%	3	3	3	3	3.3	①② スクールワイドPBSに基づいた考え方や組織的対応、個への関わり方について、今後も研修を計画していく。保小中合同研や保護者向けの研修会の内容として検討する必要がある。 ③④「個別の指導計画」等の整理と各会議による活用を図り、今後も保護者・関係機関との連携を密にしてい	3	保護者と一緒になって子供の教育に携わるため、必要な研修会を設けることは重要である。
	(3) 基本的な生活習慣の指導	① 生活指導部提案による生徒指導年間計画による指導の徹底（習慣形成、児童理解、教育相談、安全指導、環境美化、勤労奉仕） ② 「村所小学校よいこの1日」に基づいた具体的指導の充実 ③ 保小中一貫教育連携会議による「あいさつ運動」における主体的な取組と評価（児童、保護者、地域）	①② 集会等を活用し、生徒指導主事が全校児童へ安全面や基本的な生活の仕方【3つの「あ」ありがとう、あとしまつ、あいさつ】などの指導を行い、学級にて具体的指導を実施した。【3.3】【3.2】 ③ 保小中一貫教育連携会議をととして、発達段階に応じたあいさつ指導を実施した。またPTAも始業式当においてあいさつ運動を実施した。【3.3】	②※児童「おうちの外や登下校中、会った人にあいさつをしていますか」◎82.2%、○11%、△4.1%、×2.7% ※保護者「あいさつ」◎24.1%、○55.2%、△20.7%、	3	3	3	3	3.3	①②③保小中では情報を共有しながら、共通理解・共通実践に努める。プラスワンあいさつの本校独自の取組も継続して実施していく。	3	保小中が連携した取組を今後も期待したい。登校中のあいさつは、よくなってきている。下校時のあいさつをさらに頑張してほしい。
	(4) 安全教育、防災教育の充実	① 「自分の命は自分で守る」「気付き考え行動する」の合言葉による意識付けと主体的な取組の充実 ② 関係機関や地域と連携した安全教育及び防災教育の充実	① 集会における合い言葉の確認及び校長室前の常時掲示による職員・児童への啓発を行った。合い言葉等が児童・職員に浸透し、実行につながった。【3.4】 ② 警察や消防団、県の土木事務所と連携し、交通教室や防災教育を実施した。また、PTA地区集会から出た危険箇所を、関係機関と連携した危険箇所点検に反映し、対策を講じた。R3：村所地区グリーンベルト設置、田の元ガードレール高さ上げ【3.6】	①※児童「道路では車をよく見て、歩いていますか」◎94.4%、○2.8%、△2.8	3	3	3	3	3.5	①②今後も集会での全体指導、日常の学級での具体的な指導に努めるとともに、保護者、警察や役場、県土木事務所等と連携した安全指導の徹底や安全環境の整備に努める。	3	先生方の日常のきめ細かな安全指導が重要である。
	(5) 児童の主体性を生かした活動の充実	① 児童の上級生のリーダーシップを図るとともに、児童に達成感を味わわせる日常的な取組 ② 縦のつながりのある活動や各委員会での取組の充実	① 集会で「みんなでつくる学校」という話を行い、特に委員会活動や朝のボランティア活動において、上級生がリーダー性を発揮できた。また、1・2年生も上級生を見習い、朝のボランティア活動を積極的に行った。【3.7】 ② 登校班や清掃活動、委員会活動、「みんなで遊ぶ日」の活動をとおして、縦のつながりのある活動が行えた。【3.6】	①※児童「朝のそらじなどボランティアをしていますか」◎64.8%、○23.9%、△11.3%	3	3	3	3	3.7	①②委員会活動や縦割り班活動で上級生がリーダー性を発揮できた。今後もさらに児童の企画力を育成した活動に取り組み。	3	自分たちの学校という意識、児童が主体的に活動する教育に努めてほしい。
	(1) 規則正しい生活の指導	① 学校保健委員会を核に家庭と連携した取組（メディア等） ② はみがき指導の充実（むし歯治療率向上） ③ 日々のきめ細かな保健指導の実施	① 学校保健委員会における外部講師による講話や「すこやかチェック」を実施し、保護者のゲームやネットなどメディアに関する注意する意識が高まった。【3.3】 ② 給食後のはみがき指導やフッ化物洗口の取り組んでいる。西米良歯科診療所とも連携し歯磨き指導を実施できた。【3.6】 ③ 保健室来室への対応や遅刻児童への対応、さらに歯磨き指導やネット依存に係る指導など、養護教諭が児童に積極的に関わるとともに担任・保護者と連携した指導を実施している。【3.6】	①※学校保健委員会参加世帯：46%（県31%） ※すこやかチェック/5点満点：メディアルール守る 1学期3.9点→2学期4.4点 ②※むし歯保有率8.1%（全国30%） ※すこやかチェック/5点満点：歯磨き 1学期3.8点→2学期4.4点 ③※児童「早寝早起きしている」83% ※児童「朝ごはんをきちんと食べている」83% ※保護者「規則正しいリズムで生活している」83% ※保護者「保健指導や健康診断、健康だより等による家庭との連携によって、児童の保健・安全への関心を高めることにつながっている。」◎73.3%、○26.7% ※児童「ウンチは毎日出ていますか」毎日52.1%、2日に1回27.4%、3日に1回8.2%、4日に1回12.37%	3	3	3	3	3.5	①②③養護教諭によるTTによる授業を実施するとともに、今後も家庭と連携し日々のきめ細かな保健指導に努める。保健アンケート結果や学校保健委員会を活用し家庭と連携した取組（メディア等）を行い、今後、さらに個別指導を徹底する。 新型コロナウイルス感染拡大防止による感染症対策を徹底する。 排便回数調査から、食生活や生活習慣などの新たな取組が必要である	4	メディア等の教育は大変重要である。今後も情報モラル等の指導をお願いしたい。
(2) 食育の推進	① 食事マナーの向上と残食率低下を目指した給食指導の充実 ② 食への関心を高めるための栄養教諭とのティームティーチングによる指導の充実	① 栄養教諭による給食時間の巡回指導を毎日実施している。地域素材を生かした地産地消の考えを生かし、献立の新メニューの開発を行った。【3.5】 ② 栄養教諭が担任と連携し、はしの持ち方の指導など実際に学級活動の時間にて具体的指導を行った。【3.4】	①※児童「食事をするときは、食器を持って食べていますか」◎69.4%、○22.2%、△8.3% ②※保護者「西米良の食材を取り入れ、メニューの工夫や、給食だよりの発行、掲示物による啓発等によって、望ましい食習慣の育成につながっている。」◎90%、○10%	3	3	3	3	3.5	①②栄養教諭によるTTによる授業や巡回指導を実施するとともに、はしの持ち方など食事マナーの向上と残食率低下を目指した給食指導を今後も取り組んでいく。	4	食事のマナーは是非、家庭と連携してほしい。	
(3) 基礎体力向上	① 立腰指導の徹底 ② 「体力向上プラン」に基づいた教科体育の充実（一人一人の運動量を確保） ③ 体力テストD E段階の割合の減少	① 各学級における毎時の始まりや集会時の始まりなどに、立腰指導を徹底できた。【3.1】 ②③ 体力テストの結果をもとにした体力向上プランを作成できた。日頃から運動している児童とそうでない児童との差があるが、全体的には向上している。（体力テスト結果 A判定35%、E判定0%）【3.1】【3.5】	②③※体力テストDEの割合：1年（9%）、2年（7%）、3年（7%）、4年（0%）、5年（23%）、6年（7%） ※保護者「体育の授業や体力向上の時間（わくわくタイム）での取組は、児童の体力向上につながっている。」◎46.7%、○43.3%、△10% ②※児童「運動をすることは好きですか」◎77.8%、○12.5%、△8.3%、×1.4%	3	3	3	3	3.2	②③体力向上プランに基づき、日常の体育の運動量の確保に努めるとともに、家庭と連携した取組を行う。	4	運動のきらいの子供への配慮が必要である。	
4 家庭・地域及び関係機関との連携強化	(1) 学校と地域の関係機関・団体との連携・協力体制の充実	① ふたば園・中学校との日々の連携 ② 地域の中の学校として、学校運営協議会による学校経営方針の承認及び協力支援の充実 ③ PTA及び学校支援ボランティアとの連携 ④ 各関係機関（民生委員・児童委員、スクールソーシャルワーカー及びスクールカウンセラー、警察、役場、県駐在、社会教育関係団体、スポーツ少年団等）との連携 ⑤ 豊富な地域資源を活かしたキャリア教育の実施	① 日常的かつ保小中連絡協議会等により、情報を共有できた。 ② 学校運営協議会やPTA会議、学校支援ボランティアとの打ち合わせなどを活用し、学校経営方針や取組等を理解いただき、共通認識のもとで児童の支援にあたっていただいた。 ③ 各行事等において、PTAの協力により、準備・片付け、家庭教育学級の実施などスムーズに行うことができた。学校支援ボランティアによる体験学習においても、専門的知識や技能を学ぶとともに、コロナの影響があったが、可能な範囲で事業を実施できた。【3.4】 ④ スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーの積極的な活用により、困り感のある保護者や児童への早期対応に役立った。本校の各行事や地域の行事においても、学校と各関係団体等と連携協働し実施できた。【3.3】 ⑤ 「ふるさと西米良学」をとおして、地域の伝統文化、産業、特色を学び、郷土愛を育成するとともに、キャリア教育に役立った。特に6年生においては、11月の参観日で保護者の協力による職業に関する授業を行うことができた。【3.4】	⑤※6年「地域や社会をよくするために考える」46.2%（全国17.8%） ※6年「人の役に立つ人間になりたい」100%（全国77.6%） ※児童「西米良のよいところがわかりますか」◎76.4%、○13.9%、△6.9%、×2.7% ※保護者「地域素材や人材を生かした地域学習は、郷土を愛する心を養うことにつながっている。」◎70%、○30% ※保護者「教職員は、互いに協力しながら児童の指導にあたっている。」◎46.7%、○46.7%、△3.3%、×3.3% ※保護者「教職員は、確かな人権感覚をもって子どもに接し、コンプライアンス（法令遵守）を実践している。」◎46.7%、○46.7%、△6.6% ※保護者「教職員は、地域行事やPTA行事に積極的に参加し、交流や連携を図っている。」◎30%、○60%、△6.7%、×3.3%	3	3	3	3	3.4	①②③④ふたば園、中学校、警察、役場、県駐在、社会教育関係団体、スポーツ少年団等との連絡を密に行うとともに、PTAや学校運営協議会、学習支援ボランティアなど連携・協働に努める。また、保護者の困り感への対応として、スクールソーシャルワーカー及びスクールカウンセラー等を今後も活用していく。 ⑤「ふるさと西米良学」の年間計画の見直しを図るとともに、西米良の「人、もの、こと」について学び、村のよさを実感できる体験的な学習を充実させる。	3	含め、各関係機関とつながるのも小さい村のよさであり、先生方が村を知る機会でもある。さらに、西米良に貢献できる先生方になってほしい。 先生方がまずは、村のよさを実感することが重要。是非、村のよさを子供たちへ実感させていただき、村に貢献できる人材を育ててほしい。
	(2) 家庭や地域への情報の積極的な発信と共有	① 村所小ホームページの充実 ② 各通信の充実（学校通信、生徒指導通信、給食通信など） ③ 「まちコミメール」の効果的活用	① ホームページの積極的な更新・配信に努めている。【3.8】 ② 学校通信、生徒指導通信、給食通信などを発行し、学校運営に関する情報を定期的に発信している。【3.3】 ③ 天候等の急変や各種行事での情報提供・補足等必要な場面において、まちコミメールを活用している。【3.4】	②※保護者「学校だより（おがたま）、学級通信、通知表、学校のホームページなどの、学校から情報提供がなされている。」◎70%、○23.3%、△6.7%	3	3	3	3	3.5	①②③今後も保護者・地域の方と積極的に関わるとともに、個人情報の取り扱いに注意し、HPや学校通信等で情報発信・情報収集に努めていく。	3	村の方々との出会い、いろんな情報収集に努めてほしい。